



題字・イラスト：会員 加藤 比呂志

紺 碧

早稲田大学校友会 調布稲門会

調布稲門会 会報

2011.1 No. 33号

事務局 調布市若葉町 2-22-10

元木 勇 気付

Tel 03-3300-4554

Fax 03-3300-8728

編集責任者 香山 弘之

新年にあたって

会長 元木 勇

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様にはお元気で、新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は急激な円高やデフレ、猛暑や口蹄疫被害など国民生活に深刻な影響を来たす事態が相次ぎました。

また昨年の夏は世相を表す文字に「暑」が選ばれたように、熱中症などの被害が相次ぎました。「健康な一年に！」新年にあたり、そう願う気持です。

正月の第 87 回東京箱根間往復大学駅伝は、最後まで目の離せない厳しい競り合いでした。早稲田は往路 6 区山下りで先行する東洋大を逆転、最後まで一位を守り抜き、18 年ぶり 13 度目の総合優勝を果たしました。

昨年 10 月の出雲全日本大学選抜駅伝、11 月の全日本大学駅伝に続く優勝で、学生駅伝三冠を達成した母校の栄光を拍手で称え、新春早々、幸先よい歓喜に沸き立たされたことと思います。

さて、12 月 5 日（日）に開催されました、恒例の調布市福祉バザーでは、今年も沢山の品物をご提供いただき、また、火を使つての

「焼き餃子」は、今年も大変評判がよく、これもひとえに皆様のご協力の賜と、心より御礼申し上げます。また、一昨年は、早稲田校友会設立 125 周年に当たる記念すべき年でもあり、母校の発展に引き続き協力したいと思います。

私達稲門会の目的は、ご承知の通り①会員相互の親睦 ②母校早稲田大学の発展に寄与する ③地域社会への貢献となっております。

スポーツや趣味を通し、先輩、後輩が顔を合わせ、

親睦を深める絶好の機会でもある、同好会活動が 10 あり、是非参加して楽しんで下さい。

昨年は会員増強運動により、40 名近くの入会を頂きました。関係各位の多大なるご支援によるものと、感謝しております。今後も引き続き会員増強に努めて行きたいと思ひます。

より多くの同窓の方々に調布稲門会の存在を知っていただき、一人でも多くの方に入会していただければ幸いです。

昨年 11 月 早稲田大学 白井克彦総長の任期満了により

第 16 代総長に鎌田 薫法学学術院教授が就任され、校友会長も新総長に替わりました。グローバルに挑



戦する早稲田大学の発展に地域校友会として寄与する活動に努めたいと存じます。

くしくも墨田区に建設中の東京スカイツリーが日に背を伸ばしています。伸び上がる新しいシンボルを、早稲田の発展に重ね、校友会としてその目

的にそう活動を続けたいと存じます。

最後に、今後とも調布稲門会に対して、ご支援ご協力ご指導の程、宜しくお願い申し上げ、皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

東京三多摩支部大会に参加して

副会長 椎原大典（昭35 政経）

平成22年11月21日 早稲田大学校友会が設立されて125周年を迎えるに当たり、母校早稲田大学で、記念行事の一環として、東京三多摩支部大会が開催され、調布稲門会から元木会長以下8名が記念行事に参加しました。

現在、三多摩支部には4万人を超える卒業生が在住していますが、各市稲門会に加入している方は4千人程度です。

当日の大会次第は当番幹事の亀田支部長（東村山稲門会会長）の挨拶に始まり、校友会設立125周年記念として、元総長 奥島孝康氏により「早稲田と私」と題し、約1時間の特別講演が行われた。「志高頭低」を座右の銘として大隈重信侯、小野梓先生のエピソードなどなど、心を打たれる熱い思いを話され、

強く印象に残りました。

続いて懇親会は大隈ガーデンハウスに場所を移し、立食パーティーの席上、早稲田大学交響楽団の演奏のもとで、

ご来賓に鎌田 薫新総長を迎え、世界に羽ばたく今後の早稲田大



学の方向性を示唆する、感銘あるご挨拶を頂いた。

最後に、早稲田の栄光、校歌を皆で合唱し、4時間半に亘る行事を終了した。

福祉バザーを終えて

島野 一彦（昭43 理工）

関係者の願いが叶い、バザー当日は、好天に恵まれ暑いぐらいで、盛況の内に終了しました。

売上は、昨年並みの約20万円で、経費等を差し引いた（この中には、揃いのジャンパー購入準備金を含む）10万7千円を、社会福祉協議会に寄付する事が、出来ました。

改めて紙面を借りまして、ご協力頂いた皆様にお礼申し上げます。

2回目のバザー担当として気が重かった処に、福祉協議会から実行委員に加わって欲しいとの、要望があり主催者側の立場

でも参加しました。実行委員会等の出席などで、結構忙しかったです。



今回も、経験豊かな河野さんを初め、値付け場所を提供してくれた堀さん、売上に貢献してくれた餃子の小笠原さん等、先輩諸氏のご協力により、開催にこぎ付けた幸いです。

終わってみて考えるに、今年も良質な商品が多数集まらなくなった事で、バザーを終わった時、粗大ごみとして大分処分しました。

毎年やっている、ご協力頂いている皆様の所も、提供出来る物が少なくなっている状況だと思えます。

その辺が、今後どうしていくかが、課題だと思

います。

以上簡単ですが、福祉バザーの報告とさせていただきます。

2010年秋季 代議員会

山崎正昭(昭34 商)

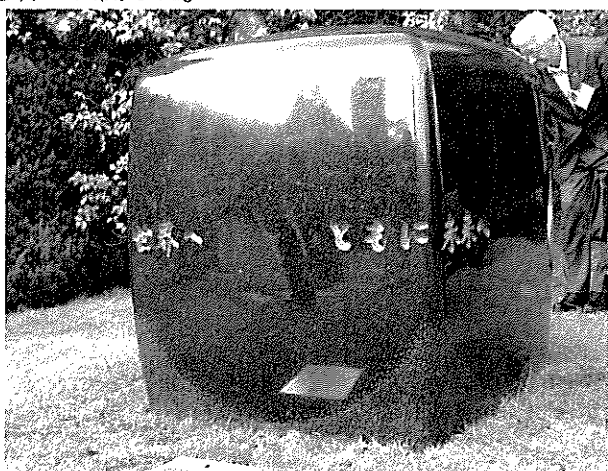
2010/9/17 大隈講堂で開催の秋季代議員会に出席する。

白井総長(校友会長) 福田代表幹事の挨拶に続き、担当幹事より活動報告を聞く。

① 10/17 稲門祭当日、校友会設立125周年記念式典を開催する。

校友会設立125周年を記念して、記念石碑を大隈庭園に設立した。

白井総長揮毫により「ともに世界へ ともに未来へ」と彫り込む。石碑はインドより取り寄せた黒御影石で、125cmの立方体(大隈講堂時計台125尺の数字語呂合わせ)。代議員会当日、除幕式を行い公開した。



10/17の記念式典で早稲田4代の校友を表彰する。全国16組

② 校友会名称を『〇〇稲門会』に統一を依頼し、24組織が名称を変更する。10組織には従来の名称が残る。

名称統一について本部は強制しないが、限りなく協力を依頼している

③ 校友会は現在1350組織が登録されている。

東京三多摩に2010年に武蔵村山稲門会、東大和稲門会、羽村稲門会が発足した。

④ 校友会は奨学金、母校支援に力を入れ、収入の50%をこれに当てる目標で活動を進めている。2010年度に新設された「めざせ!都の西北奨学金」(入試前予約採用給付奨学金)は他に前例の無いユニークな奨学金である。

V QuonNet 同窓会機能の活用

品川、1982年次稲門会より本機能の活用についての報告

同窓会機能はシンプルで名簿管理、活動、会報・・・の活用に将来的な夢がある、費用の節約にも期待できる。(品川)

記録が残り事務引継ぎも効率的に出来る。普段疎遠な活動の下支えになる。遠隔地の仲間との連絡も取り易い。(年次稲門会)

⑥ 新入生との交流について

粕江、京都、秋田 各支部の報告

本年度総会に招待(粕江)

支部活動 緑化運動への参加呼びかけ(京都新卒ではないが新会員30名入会)

インカレの地方合宿に陣中見舞い(秋田)

支部活動・イベントへの参加を呼び掛けるなど、地域に関係する在学生とのコンタクトは、本部に用件を連絡、本部から本人に通知する便宜を取ろう。

白井克彦総長は11月に任期満了により退任、鎌田薫 法学学術院教授に代わる。本代議員会が校友会長として最後の挨拶となり、校友会長も新総長に引き継がれる。

2010年度 稲門祭

実行委員 石倉 毅(昭36 理工)

母校校友会の祭典「稲門祭」は10月17日(日)ホームカミングデーの式典終了後、同日正午オープニングセレモニーを皮切りに早稲田キャンパスで種々のイベントが開催され、グランドフィナーレまでの半日を好天にも恵まれ、多くの校友、家族、学生等々で盛況の賑わいであった。

今年度の稲門祭案内の資料によれば当校友会は学校創立の3年後、1885年(明治18年)12月13日に設立された。現在の総会員数は約62万人、生存会員は約56万人と記されている。

今年度の稲門祭の主要イベントで音楽関係ではジャズ、クラシック、ハワイアンなど活躍中のデクシーセイन्ツ、オペラ歌手の岡本喬生、ナレオハワイアンズ、ポニージャックス、ほか守屋純子、タモリ、浅井慎平、小室哲哉等々のOB、OGに依るライブショー、トークショーがあり、スポーツ関係では奥島孝康稲門体育会名誉会長、河野洋平同会長、中竹竜二ラグビー部前監督、今年度大活躍の競走部から瀬古利彦エスビー食品(株)スポーツ推進局々長、渡辺康幸競走部監督など、又「校友会稲魂賞」(各界において顕著な活動、成果を挙げた栄誉を称える賞)を贈呈された岡田武史サッカー日本代表前監督その他、田原総一郎、見城美枝子、高野猛、辻元清美の各氏など校友のオピニオンリーダーのトークショーなどな

ど大隈講堂、講堂前特設ステージ、大隈庭園や8号館等で大いに賑わった。

大隈庭園では都内稲門会や我が三多摩支部、大隈銅像の周辺キャンパスには県支部稲門会が夫々工夫を凝らした模擬店を出展、こちらも大した賑わいであった。

イベントの開催はわずか半日の時間でしかないが、開催にこぎ付けるまでには多くの校友会々員のボランティア活動で、その他ご協賛戴いた多くの企業・団体、都道府県支部稲門会、職域稲門会などのご協力無しには成り立たない。稲門祭設立の趣旨は校友会活動をより活性化させることに他ならない。私も担当者の一人として当日は朝から終日キャンパスに居たが、調布稲門会々員を見かけたのは数人のみ(広いキャンパス内で、しかも混雑のため見落としかかな?) 今後においてより多くの会員が稲門祭に関心を持ち、来場されることのみならず、積極的に参画されることを期待して止まない。

ちなみに開催に携わった会員、ご協力賜った団体等は凡そではあるが、実行委員長以下運営委員、実行委員等計320名以上その他学生多数、都道府県支部稲門会計95団体、記念グッズ販売の福引景品(トップの乗用車からふるさと賞、計2,160点)をご提供戴いた企業等計100団体など

紺碧の広場 会員エッセイ

記憶術養成講座へ参加

岩佐 豊(昭和45 政経)

昨年末、ヒョンなことから「記憶術養成講座」へ行きました。初級・中級・上級とあるのですが、まずは初級の2日間コースです。朝10時から夕方6時まで、途中昼食で1時間の休みはあるのですが、実際には夕方7時まで掛かり、ざっと8時間の講座を二日受けたことになります。

当日の参加者は、6名でした。うち、小生のような60台は2名です。もう一人60台の方は、早稲田の小生より3~4年先輩のMさんです。Mさんは、学生時代、大学応援部のプラスバンドに属しており、皆さんがよく聞く、早稲田のコンバットマーチの作詞作曲者です。たった一曲で、日本作詞作曲者協会の正会員に

なったり、ベンチャー企業をお兄さんと創業し、見事株式公開までもっていったり、さらに、地元小豆島で町長をするなど色々なことを実行してきましたが、こと記憶法になると、小生と同じで、自信は無いのが現実です。

不安を持ったまま、第一日目に参加した「老人2人」ということになります。先生は事前に、「昨日まで、私はこの2年間で500人の人に教えてきました。小学校5年生から80歳の方までです。一人も落ちてしまった人はいませんので、ご安心ください」と、我々を励ましてくれたのですが、「老人2人」からしますと、ことによったら、「私が、落ちこぼれ第1号になるのでは」という不安との闘いになってしまいました。第1日目の朝は、「何故申し込んでしまったのか」という後悔の気持ちで一杯でした。

結果的には、「老人2人」を含む全員が、2日間の初級コースをキチンと終えることが出来ました。第1日目が終わったところで出された宿題が、「明日までに、この表の200の言葉を覚えてくるように」ということでしたが、全員が、「何とか覚えられるだろう」と思って、帰宅したのも事実です。勿論、翌日、全員が宿題をこなしてきました。今日時点でも、300や400の言葉を覚えられる技術は身につけています。

2日目を終えた段階では、「1何々、2何々」と20までの番号と言葉を、即記憶し、「5は何々ですか」と聞かれれば、「5は花ピンです」、「それでは、犬は何番ですか」と聞かれれば、「犬は、12番です」といったように答えられます。さらに、中級まで進めば1~20ではなく、1から無限の番号と言葉をつなげたかたちで記憶できるそうです。とりあえず、初級でも、1から20までは、番号と言葉をセットにして、簡単に記憶できます。

我々以外の若い人達は、さらに、中級・上級に進む意欲を持っていたようですが、小生とMさんの「老人2人」は、初級をやっただけで十分というところでした。

勿論、200や300の言葉を覚えられても、何の役にも立ちません。しかし、楽しかったのは、緊張感でした。「落ちこぼれ第1号」にはなりたくないということで、2人とも先生の話真剣に聞き、さらに、演習では集中力を高めて、基本技術の一つ一つをマスターしていく。終わってからの快い気分です。

2日間の受講料は、昼食代こみで、3万7000円。終了後に高いと思った人は、1人もいなかったようです。

我らの同好会活動

～紺碧の空の下、いい日ワングル～

「柴又帝釈天界限と矢切の渡し」

ワングル同好会 舞木孝治(昭38 商)

11月3日(文化の日)、文句のない絶好のワングル日和。総勢20めい、エンジの小旗を靡かせて出発です。寅さんの映画でお馴染みの京成柴又駅、あののぼりホーム・旅立つ寅さんとサクラの別れのシーンが浮かんできます。

東京の北東部、江戸川のほとりに位置する葛飾柴又是水と緑の下町の風情あふれる門前町です。

駅前にたたずむと自然と心が温くなる町一葛飾柴又。参道の両側にはお土産や、たべものやがいっぱい・草だんご、せんべい、アメ、漬物そしてうなぎと川魚料理・などなど。昔ながらの趣を今なお色濃く残しています。祭日とあって参拝客のざわめき、賑わいです。

お寺に上がって右側に進めば、すばらしい彫刻が回

廊の壁面を埋め尽くしています(彫刻ギャラリー)。このお堂を巡る外壁の木彫は法華経説話より取材し、当時の名人により彫られたもの。

いそげいそげ、さァ次は帝釈天の近くにある大正時代の特色を色濃く残した和洋折衷の歴史的建造物と純和風の庭園の山本亭、そして隣に接するお馴染み「男はつらいよ」の寅さん記念館。

〜〜やけのやんぱち 陽焼のなすび
 色がきれいで喰いつきたいが
 わたしゃ入れ歯でハが立たない〜〜
 〜〜結構毛だらけ 猫灰だらけ
 お尻のまえわりは くそだらけ〜〜
 見上げたもんだよ 屋根やのふんどし〜〜
 思わず口元が緩んでしまいました。



当日は、時あたかも早慶の決勝戦ワセダの一行とあってワセダ応援しているよの声あり、

ありがとう！

つぎに、寅さん映画で毎回かならず撮っている江戸川の堤防へ・・・遙か対岸に広がる千葉県松戸市や市川市の丘陵地帯を眺めながら「矢切の渡し」の乗船場へ。

(同好会・代表者)

囲碁・将棋： 塩沢 誠 042-484-1505
 早川 政夫 042-487-9610
 大谷 暢廣 042-481-0202

カラオケ： 小笠原 忠八郎 042-481-6867

ゴルフ： 香山 弘之 042-482-6994

ワンゲル： 舞木 孝治 042-486-0665 天野 凡子 042-480-2503

ここでも乗り場の際のお土産やのオジサン ワセダ応援しているよ！ 流石は花のワセダは全国区 サンキュウ！

ご存知「矢切の渡し」は伊藤左千夫の名作「野菊の墓」の舞台です。お民さんと政夫の悲恋物語。

昔ながらの櫓で漕ぐ舟で旅情満点、川面を吹き抜ける爽やかな風を気持ちよく受けながら、カラオケ・ファンの自分は、ちあきなおみや細川たかしの唄「矢切の渡し」を口ずさんで、しばし「野菊の墓」の中へ想いをめぐらしました。

松戸側では約20分「野菊のこみち」を歩行・・・実際はネギ、ブロッコリー



などの畑の中を「野菊の墓文学碑」がある西連寺までを往復、再び渡し舟で柴又帝釈天にバック。お腹が減って少々くたびれたところで、2時過ぎ参道中ほどの蕎麦やで打ち上げ。20名全員元気で完歩、シャンシャン。

ワンゲルは副作用のない健康増進剤 散策とおしゃべりで笑顔がいっぱい。次回はご一緒に如何ですか。

(参加メンバー) 敬称略

今でもイケメン〜出下、大谷(暢)、神谷、川島、斉藤、濁川、堀、松野、山崎、舞木

永遠のマドンナ〜大谷、大槻、川島、河野、竹下、塚田、塚田(昌)、松野、村上、天野

社交ダンス： 島野 一彦 042-484-7866

太極拳： 中野 完二 042-485-0523

麻雀： 濁川 寿次 042-483-6966

硬式テニス： 中村 輝夫 042-485-1217

食・歩会： 山田 和子 042-488-0741

平成15年5月17日改定

調布稲門会会則

- 第1条 本会は調布稲門会と称し、事務所を調布市におく。
- 第2条 本会は会員相互の親睦を深めると共に、地域社会への貢献に務め、早稲田大学の発展に協力することを目的とする。
- 第3条 本会は調布市に在住、在職する早稲田大学の校友をもって組織する。
- 2 校友のファミリーは準会員になることができる。
- 第4条 本会に次の役員をおく。
- 会長 1名 副会長 若干名 幹事長 1名 副幹事長 2名
幹事 若干名 監査 2名
- 2 幹事の中に 渉外・会合・会員増強・総務・企画・会計・庶務・広報・バザーの担当幹事をおく。
- 第5条 役員は総会において会員中より選出する。
- 2 役員任期は2年とし、再選を妨げない。
- 3 前条第2項の担当幹事は、会長が幹事の中から指名する。
- 第6条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- 2 副会長は、会長をたすけ、会長に事故あるときは会長の職務を代行する。
- 3 幹事長は幹事会を司会し、母校校友会、三多摩稲門会、友好団体との連絡に当たる。
- 4 副幹事長は幹事長を補佐し、会の総合的事業計画及び会務の執行について協議しこれを処理する。
- 5 監査は業務及び会計の監査を行う。
- 第7条 本会は総会の議決により名誉会長、顧問、相談役を置くことができる。
- 第8条 本会は、毎年一回定期総会を開催する。ただし、会長が必要あると認められた時、または、会員の過半数の要請ある時は臨時総会を開催することができる。
- 2 総会は会長が招集する。
- 第9条 本会の会員の年会費は3千円とする。
- 2 準会員の年会費は1千円とする。
- 第10条 本会の運営に功績のあったと認められる会員または準会員に対し、慶祝金または弔慰金を支給することができる。
- 2 慶祝金または弔慰金の支給については、会長・副会長・幹事長の合議とする。
- 第11条 本会の会計年度は4月に始まり、翌年3月に終わる。

付 則 この会則以外の必要事項は役員会で審議し、総会で決定する。

2010年の漢字は『暑』に決まる。猛暑の続いた夏、いろいろと思いが残る。

6月には小惑星探査機『はやぶさ』が、火の玉になって大気圏に突入、帰還する。未来に希望を得る快挙だった。

墨田区に建設中の東京スカイツリー、10月には東京タワーを抜き日本一になる。2012年春の完成に向かい、日々、背を伸ばしている。観光客も空を仰ぎ、新しい観光拠点に期待を抱く。

8月に発生したチリの鉱山落盤事故、700mの地下に閉じ込められた33名、10月に69日ぶりに全員救出され、無事生還する。NASAの技術も活かされたと聞く。地下の狭い空間に閉じ込められ、争いもなく救出を待つ被害者を統率したリーダーも注目される。明るいニュースもあった。今年も明るい話題に期待したい。



第87回箱根駅伝 第6区山下り

早稲田 高野、東洋 市川の競り合い



2011.5.28(土)

第30回 定例総会

調布市文化会館 「たづくり」

<p>思いをカタチにするそれを支える プロの技がここにあります 冠婚葬祭・出張料理・パ・ティ料理・会席料理</p> <p>アジサイワールド(株)</p> <p>電話 〇二〇・五五五・五八五 FAX 〇四二・四九九・七八一 http://www.ajisaiworld.co.jp</p>	<p>ギフト</p> <p>京王百貨店調布外商営業所</p> <p>住所 〒182・0024 東京都調布市布田一・四五・一 シエロビル四階</p> <p>電話 〇四二・四八一・五七六一 FAX 〇四二・四八七・九〇一一</p>	<p>桜田倶楽部</p> <p>東京テニスカレッジ</p> <p>会長 秋山 一</p> <p>住所 〒182・0017 東京都調布市深大寺元町二・三二・一</p> <p>電話 〇四二・四八二・二二〇九</p>	<p>深大寺そば処 創業文久年間</p> <p>元祖 嶋田家</p> <p>住所 〒182・0017 東京都調布市深大寺元町五・十二・十</p> <p>電話 〇四二・四八二・三五七八 FAX 〇四二・四九九・六六五五</p>	<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装</p> <p>株式会社住まいるスズキ</p> <p>代表取締役 鈴木 光孝</p> <p>〒182・0023 東京都調布市染地三・五・六五 電話 〇二〇・〇八〇・二四二二</p>
<p>林建設株式会社</p> <p>取締役社長 林 清一</p> <p>住所 〒182・8512 東京都調布市小島町二・五六・三</p> <p>電話 〇四二・四八六・一一一一 FAX 〇四二・四八六・一一二〇</p>	<p>不動産賃貸</p> <p>中村不動産管理株式会社</p> <p>代表取締役 中村 俊一</p> <p>住所 〒182・0035 東京都調布市上石原一・一〇・一</p> <p>電話 〇四二・四八二・二〇三三</p>	<p>新しい食文化を創る</p> <p>株式会社山田屋本店</p> <p>代表取締役社長 秋沢 淳雄</p> <p>住所 〒182・0024 東京都調布市布田三・一・一</p> <p>電話 〇四二・四八二・四五八五 FAX 〇四二・四八二・四五七二</p>	<p>早稲田大学商議員</p> <p>早稲田大学調布稲門会</p> <p>会長 元木 勇</p> <p>自宅 〒182・0003 調布市若葉町二・二二・一〇</p> <p>電話 〇三・三三〇〇・四五五四(代) FAX 〇三・三三〇〇・八七二八</p>	<p>身体障害者の社会参加と活動の場</p> <p>印刷工房めじろ作業所</p> <p>〒182・0024 東京都調布市布田二・四七・二 カームネス中村一階</p> <p>電話 〇四二・四四三・一六三三</p> <p>この会報は印刷工原めじろ作業所で印刷しました。</p>